

令和元年秋の特別展

天皇陛下御即位記念

# 行幸—近現代の皇室と国民—

## 明治



## 大正



## 昭和



## 平成



## 令和



令和元年 **10月5日(土)~11月10日(日)**

期間中無休



入場無料

■開場時間:月~水、土、日、祝...9:45~17:30(入場 17:00 まで)  
木、金(祝を除く)...9:45~20:00(入場 19:30 まで)

■会場:国立公文書館 東京本館  
(東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分)



独立行政法人  
**国立公文書館**  
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

# 行幸 - 近現代の皇室と国民 -

令和元年 秋の特別展

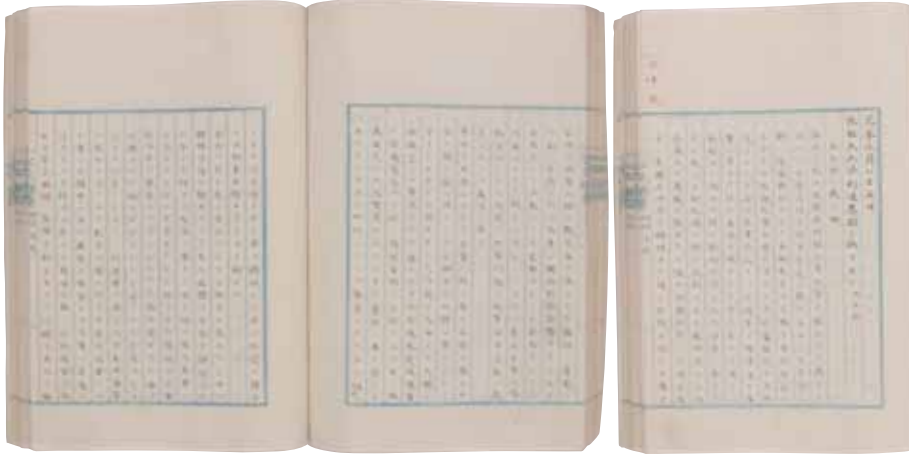
天皇陛下御即位記念

明治維新後、近代化の進展とともに、天皇を中心とする皇室の情報は様々な形で国民に伝えられました。

特に、各地で行われる行幸啓は、多くの国民が皇室を身近に感じる機会になりました。その後も、現在に至るまで、行幸啓は皇室と国民を近づける重要な行事として行われる一方、その内容やスタイルは、時代に合わせて変化していきます。

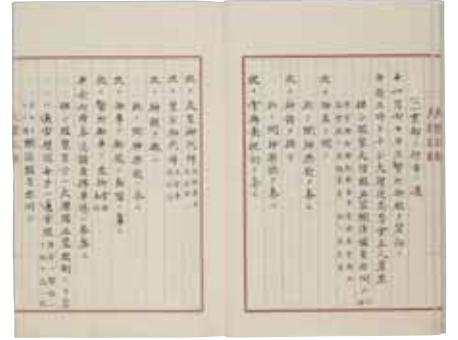
本展では、天皇陛下の御即位を記念し、近現代の行幸啓の歴史と、皇室と国民の関係について、当館所蔵の公文書や関係機関所蔵資料から御紹介します。

主な  
展示資料



## ●参与大久保利通遷都ノ議ヲ上ル

慶応4年(1868)正月17日、新政府の参与大久保利通は、大坂遷都を建言しました。この中で大久保は、天皇は西欧の君主のように、国中を視察し、民を大切に育て、広く民に敬愛される君主となることが重要であると述べています。大坂遷都論は採用されませんでした。同年3月には大坂行幸が実現し、明治天皇が初めて京都の外の地を訪問されました。



## ●新日本建設ニ関スル詔書

昭和21年(1946)1月1日、「新日本建設ニ関スル詔書」が発せられました。詔書では、敗戦後の困難な状況の中でも、天皇は国民とともにあり、その関係は「終始相互ノ信頼ト敬愛」によって結ばれ、「単ナル神話ト伝説」によるものではないことが述べられています。その後、同年2月から、昭和天皇による巡幸(じゅんこう)が開始され、昭和29年までに、当時米軍の施政権下にあった沖縄を除く、各都道府県に行幸されました。

## ●大正大礼記録

大正4年(1915)11月、大正天皇の即位の礼と大嘗祭が京都御所で行われました。大正天皇は京都へ行幸し、儀式に臨みました。これらの儀式は詳細に記録され、『大礼記録』としてまとめられました。同記録には、上の資料のような文書のほかに、写真や絵図が含まれ、行幸の様子や、儀式の華やかな雰囲気も伝わります。下の写真は、行幸の際、天皇、皇后のために特別に運行された宮廷列車の写真です。

## 記念講演会

要事前申込・先着順

参加費  
無料

講師



御厨 貴氏  
(東京大学名誉教授)



古川 隆久氏  
(日本大学教授)

日時 令和元年10月26日(土) 13:30~15:40(受付開始 12:30)  
場所 日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル3階)  
定員 600名 定員になり次第締切とさせていただきます。

申込期間  
令和元年9月10日(火)~10月23日(水)

申込方法  
メール本文に 代表者氏名 参加人数 電話番号をご記入のうえ、件名を「記念講演会参加希望」として [gyoko@eastcrew.com](mailto:gyoko@eastcrew.com) までお送りください。なお1通のメールで5名まで申込可能です。

お送りいただいた個人情報は、記念講演会の受付のみに使用いたします。

結果通知: お申込みから7日以内に、結果をメールさせていただきます。

お問合せ: 03-3485-8572(特別展記念講演会事務局)  
10:00~18:00(土日祝を除く)

## 展示解説会

企画担当者による解説を行います。 日時/10月16日(水)午前11時から 場所/国立公文書館4階会議室 定員/90名  
事前申込不要 当日10時から、当館1階受付において、入場整理券をお配りします。



独立行政法人

国立公文書館  
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2  
TEL. 03-3214-0621

[www.archives.go.jp](http://www.archives.go.jp) @JPNatArchives @JPNatArchives

アクセス 東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口から徒歩5分

